

宣伝カー 大津北部を回る

統廃合で、大津の子が ますます大津へ行けなくなる

9月22日は、大津北部の宣伝行動。宣伝カーに乗り込んだのは、高教組前委員長の西山さん、全教滋賀の田中委員長、高教組の西村副委員長の3人です。西大津駅前を皮切りに、唐崎のフレンドマート、坂本のアルセ(平和堂)、日吉台の住宅地、仰木の住宅地、和邇の平和堂、和邇のレイボ-ガーデン、小野のローズタウン、堅田駅前の9個所で宣伝しました。「全県一学区で、他の地域の子どもが大津へ来て、大津の子どもが大津の学校に行けなくなった。統廃合で学校が減れば、さらに沢山の子どもが大津に来る。困るのは大津の子です」。3人が代わるがわるマイクを握りながら、他の人がチラシをポストインしていきます。

高校がなくなるって 冗談やろ 嘉田さんが そんなことするわけがない



和邇の平和堂では、「高校がなくなる」という演説をじっと聴いていた男性が、「そんなことあるかいな、冗談やろ。嘉田さんがそんなことするわけがない」。対話の内容が濃いものになります。家族で日向ぼっこをしているおじいさんたちにも訴えました。

小学生も心配そうに寄ってくる

和邇のレイボ-ガーデンの宣伝は、ちょうど下校時間でした。全教の田中さんが優しく話をしていると、小学4~5年生が演説を聴いたあとで心配そうに寄ってきて「学校を守って...」と。小学生が自分のことと感じているようです。

「こんなんあかん」と友だちを呼んで署名

6時、堅田駅では、大商の五十子さんと安曇川の桂田さんが加わり、5人で行動。堅田高校に勤務した経験のある五十子さんは、通りかかった堅

田高校の女性OB等と話し込み、24筆の署名を集めました。

「高校がつぶされる」という声に振り向いて、「こんなんあかん」と、友だちを呼んで一緒に署名する男子高校生もいました。「署名用紙はないんですか」と訪ねてくる女性もいました。この日の行動で、64筆の署名があつまりました。

統廃合中止を求める声は、大津でも、地域からじわじわと広がり始めています。

八幡駅では、小学生が応援

15日は、八幡・湖東地域の行動日でした。明るい会の谷本さん、中野さん、全教滋賀の田中委員長、高教組の岡本書記長が、八幡、日野町、八日市をくまなく回りました。夕方の八幡駅前宣伝には、8人が参加し、乗降客にチラシをまき、署名を訴えました。岡本書記長が演説していると、その元気さに引きこまれて、小学生グループが「そうや、そうや」とかけ声をくり返していました。



25日 16時~17時

膳所駅前で署名

・宣伝行動に参加を

高校統廃合はストップせよ

速報 第14号 2010/09/24 発行：滋賀高教組

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)